

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 4 - 3
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	閑上コミュニティ広場整備事業
全体事業費	24, 931千円

【事業概要】

東日本大震災により甚大な被害を受けた閑上地区は、周辺集落である「小塚原北」「小塚原南」「牛野」「高柳」及び「大曲」の各地区とともに地域を形成し、小中学校の教育活動、公民館等の社会教育活動をはじめ、全て同一のコミュニティとしてともに生活してきた経過がある。

このため地域の絆とまとまりが強固であり、地区民運動会の住民の自主的運営、自主防災組織の地区協議会設立など、他の地区に先駆けて先導的な取り組みを行なってきた地域である。

これら活動の拠点は、旧閑上公民館の敷地にあった多目的広場であり、ここで地区民運動会、地区民ソフトボール大会など多くの行事が行なわれてきた。

被災した閑上地区及び周辺集落が持今後続可能なまちとして成長していくためには、世代間交流、地域間交流など、かつての強固なコミュニティ形成が不可欠である。また、やむを得ず閑上を離れ内陸部に住宅を再建された方々や、閑上への通勤者の方々とのコミュニケーションの場も今後必要になってくることから、地域の活力を創造していくコミュニティ広場の整備を行うものである。

【基幹事業との関連性】

D-23-4 閑上地区防災集団移転促進事業（事業費）

閑上地区防災集団移転事業の移転元地を活用し、多目的広場を整備することで、移転先産団地を含む閑上地区、周辺集落の世代間交流、地域間交流によるコミュニティ形成が期待できることから、基幹事業との関連性が認められる。

【事業年度】

平成30年度

【事業費】

設計費（平成30年度）

・閑上コミュニティ広場実施設計業務委託 24, 931千円

【事業内容】

平成30年度の実施設計に基づき、平成31年度に工事着手、当該年度の完成を目指す。

広場計画面積：約4.9ha

整備計画内容：コミュニティ広場、駐車場・通路、給排水設備工、トイレ、四阿等

- ※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。
- ※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
- ※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。